

比較級・最上級を使った表現

ねらい 比較の表現(比較級・最上級)を理解し、その違いをマスターする

サポーターからのコメント

比較級最上級を身近な先生を題材に学べたことと、トーナメントでICTを活用したことで、いつもより積極的に授業に参加する子供が多かった。

STEP 1

教員は事前に3枚のカード・タブを準備。

- ・先生を選ぶ(8人の先生がトーナメントする状態)
- ・1回戦
- ・2回戦



今日の活動で何をするのかを全員で確認する。

[使い方動画 授業の始め方](#)

STEP 2

今回の課題「この学校でどの先生が強い(腕力・体力・頭脳・・・)?」

- ・自分が思う先生の名前を入力する。

ひろばに提出して先生が集計をする。「テキスト分析」をすることで多い意見8人の先生を決める。



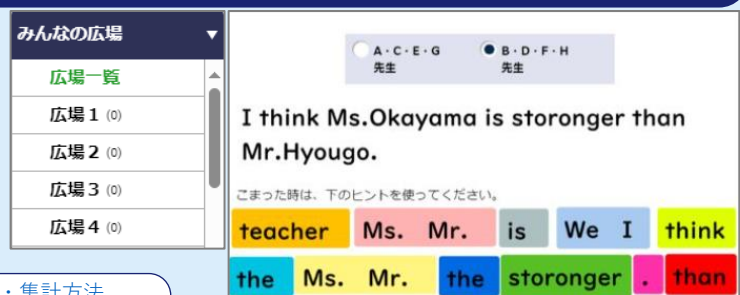
[使い方動画 キーワード集計のカードの作り方・回答方法・集計方法](#)

STEP 3

「1回戦の対戦をします。」

- ・2名の中で「強い」を選ぶ
- ・トーナメント表を見ながら選択肢で先生を選び、理由を入力(入力が困難な子供は、ヒントから並べ替えをする)

ひろばに提出して先生やお友達に見せあう。「テキスト分析」をすることで多い意見4人の先生を決める。



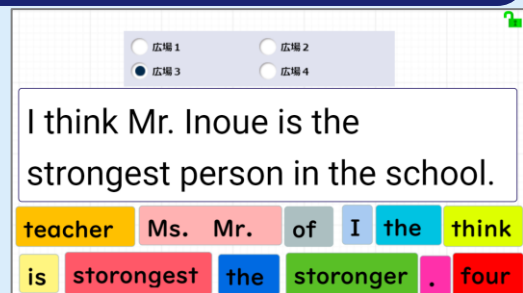
[使い方動画 選択肢集計のカードの作り方・回答方法・集計方法](#)

STEP 4

最後に「2回戦で4名の中から選びます。」

- ・4名の中で「一番強い」を選ぶ
- ・理由を入力する

選択肢集計・キーワード集計でどのような意見が多かったか確認する。友達からのコメントや先生からの花丸をもらう。



[使い方動画 カードへの拍手・コメント・花丸の付け方](#)